

|         |   |
|---------|---|
| 氏名      | 向井 敬  |
| 授与した学位  | 博士  |
| 専攻分野の名称 | 医学  |
| 学位授与番号  | 博乙第 4106 号  |
| 学位授与の日付 | 平成18年3月24日  |
| 学位授与の要件 | 博士の学位論文提出者<br>(学位規則第4条第2項該当)  |
| 学位論文題目  | Effects of Radiofrequency Ablation on Individual Renal Function: Assessment by Technetium-99m Mercaptoacetyltriglycine Renal Scintigraphy<br>(腎腫瘍に対するラジオ波焼灼療法の分腎機能への影響：<br>Tc-99m-MAG3シンチグラフィによる評価) |
| 論文審査委員  | 教授 榎野 博史 教授 平松 祐司 助教授 木浦 勝行   |

#### 学位論文内容の要旨

腎腫瘍に対してラジオ波焼灼療法 (RFA) を施行した 12 症例において RFA 前後での腎機能の変化を Tc-99mMAG3 シンチグラフィ、特に定量的指標である MAG3 clearance を用いて評価した。対象は腎腫瘍に対して RFA を施行したのべ 12 症例で、6 例は単腎症例、5 例は対側腎健常腎症例、1 例では両腎の腫瘍を治療した。RFA 前後でのクレアチニン、BUN、24 時間クレアチニンクリアランス、MAG3 clearance の比較を行った。単腎症例の 6 症例、対側腎健常腎症例 5 例での RFA 前後の MAG3 clearance の値に統計学的に有意な差は見られなかった。対側腎健常腎症例では総腎機能に加え、分腎機能も検討した。RFA 前後での MAG3 clearance の変化を RFA を施行した患側腎と対側腎で比較した場合、患側では 5 例中 4 例で低下しており、逆に健側では 5 例中 4 例で増加していたが有意差はみられなかった。今回対象とした 12 症例において腎腫瘍に対する RFA は腎機能に有意な影響を及ぼしておらず、RFA の低侵襲性が確認された。Tc-99m MAG3 シンチグラフィを用いることにより、分腎機能の評価が可能となり有用であった。

#### 論文審査結果の要旨

本研究は、腎腫瘍に対してラジオ波焼灼療法 (RFA) 前後での腎機能の変化を Tc-99mMAG3 シンチグラフィで評価したものであるが、RFA は Tc-99mMAG3 シンチグラフィで評価した分腎機能に有意な影響を及ぼしていなかった。腎機能への影響という点で RFA は安全かつ低侵襲であることが確認され、重要な知見を得たものとして価値ある業績と認める。

よって、本研究者は博士 (医学) の学位を得る資格があると認める。